

桜 生 工

2017 日本大学生産工学部校友会誌

CONTENTS

ごあいさつ

生産工学部校友会長 高野 和雄	2
生産工学部学部長 落合 実	3
鳥人間コンテスト2017 優勝	4
ルービックキューブ世界大会 優勝	5
平成29年度 生産工学部校友会 代議員総会	6
平成29年度 生産工学部校友会 代議員総会 懇親会	7
落合 実 生産工学部長 日本大学副学長就任祝	8
工科系校友会 連絡会	8
第29回 母校を訪ねる会・桜泉祭	9
第12回 日進会(教職員・校友会合同)ゴルフコンペ	9
第10回 風力発電コンペ	10
2018年度 キャンパスガイド表紙デザインコンペ	10
新部会長 紹介	
梅谷 純生 土木工学科部会長	11
佐野 洋之 応用分子化学部会長	11
学科ニュース	12
校友会名簿システム	14



高野 和雄 生産工学部校友会会長



日本大学生産工学部
校友会 会長

高野 和雄

校友の皆様におかれましては、益々ご清栄、そして、ご健勝の趣、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より校友会活動について、ご理解とご協力を賜り、心から感謝しております。生産工学部の校友会誌「桜生工」も本号で47号になります。年に1回

の発刊ではありますが、生産工学部ならびに生産工学部校友会の活動を皆様にお知らせする貴重な会誌でございます。ぜひ、最後までお読み下さい。

6月に行われました平成29年度生産工学部校友会代議員総会では、3年に一度の役員改選が行われ、次期の生産工学部校友会会長にご推薦を頂きました。今回で4期目になります。皆様のご支援に感謝するとともに、今後も生産工学部校友会のために尽力する所存でございます。今後ともご支援とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。また、今回の代議員総会におきまして、2つの部会で部会長の交代が承認されました。土木部会では室木正春部会長（経営工学科41年卒）の勇退に伴い、梅谷純生新部会長（昭和58年卒）、同じく、応用分子化学部会では森田隆司部会長（経営工学科40年卒）の勇退に伴い、佐野洋之新部会長（昭和59年卒）にそれぞれ交代しました。室木前部会長、守田前部会長、長きにわたり、生産工学部校友会のためにご尽力頂きありがとうございました。この誌面をお借りして心より御礼申し上げます。今後、お二人には顧問に就任頂き、引き続き校友会活動を支えて頂きたいと思っております。

今年度は校友会のみならず、学部、日本大学本部とも、役員改選の年でした。生産工学部では平成29年3月31日の落合実学部長の任期満了に伴う学部長候補者選挙が昨年末に行われ、96%以上の高い支持率を得て落合実教授が再選されました。その後、理事会等を経て、本年4月1日より生産工学部長として2期目を迎えております。なお、副学長の重責も継続して担っておられます。日本大学本部の方

も、本年9月1日から大塚吉兵衛学長が3期目、同じく本年9月10日から田中英寿理事長が4期目を迎えました。我々の石井進相談役も他の常任理事が交代する中で、3期目になりました。新たに理事長・代理代行者にも就任され、日本大学の中心として益々多忙な毎日を過ごされております。一方、私事ではございますが、2期6年間務めた理事職を無事終えることができました。理事時代には日本大学スポーツ振興委員会委員長の大役を仰せつかり、箱根駅伝大会等の支援をして参りました。今後は少し時間ができますので、より一層、生産工学部および生産工学部校友会のために尽力したいと思っております。

ここで、最近の学生たちの活躍を少し紹介させて頂きたいと思っております。ご覧になった方も結構いたのではないかと思います。今年の「第40回鳥人間コンテスト2017」（読売TV系列）で生産工学部の津田沼航空研究会が悲願の初優勝をはたしました。鳥人間コンテストは人力プロペラ機ディスタンス部門と滑空機部門の2つの部門で争われます。鳥人間コンテストというと日本大学理工学部が有名ですが、理工学部は人力プロペラ機ディスタンス部門になります。今年の成績は4位と聞いています。生産工学部の津田沼航空研究会は滑空機部門に出場し、440.37mの記録で、歴代5位、学生歴代1位の堂々たる成績で優勝しました。11月4日（土）に津田沼キャンパスで初優勝を祝う祝賀会が開催され、多くのOB・OGが集まり、今回の快挙を祝しました。校友会としてもお祝い金を出させて頂きました。あまり知っている人はいないのですが、津田沼航空研究会の二代目顧問は石井進相談役です。

また、生産工学部校友会のホームページをリニューアルしました。ホームページでは、生産工学部校友会の活動の他、様々な情報が掲載されますので、ぜひ、ご覧下さい。

「日本大学生産工学部校友会」のURLは、<http://seisan.nihon-u-koyukai.com/>です。今後とも、生産工学部校友会のために尽力いたしますので、ご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

落合 実 生産工学部長



日本大学生産工学部長
生産工学部校友会名誉会長

落合 実

校友の皆様におかれましてはますますご健勝でご活躍のことと、心よりお慶び申し上げます。

生産工学部では校友（卒業生）の皆さんの活躍が社会で高く評価されていることが発展の礎であり、加えて、校友会からの直接的なご支援とご協力が更なる発展に繋がっております。感謝とお礼を申し上げます。

そこで、校友会から賜っております支援の一部を紹介いたします。第一には「生産工学部校友会奨学金」です。これは数十年前に莫大な基金を賜り、その利息を経済的に困窮した学生への奨学金としています。そして2012年の創設60周年記念事業で頂いた多額のご寄附を10年間に分けて校友会奨学金に組み入れて学生に給付しています。第二には、学部行事である風力発電コンペ、キャンパスガイド表紙コンテスト、留学生研修旅行、桜泉祭、母校を訪ねる会などへの補助、入学生や優秀卒業生への記念品贈呈、鳥人間コンテストや運動部・文化サークルなどへの活動費補助、等々です。

このような支援の他に、校友の皆さんからは生産工学部の特徴科目である「生産実習」の受け入れ、そして学生への特別講演や就職活動に対するご支援、等々、多方面でお世話になっております。

このような学生へのご支援とご協力も高野和雄会長ならびに石井進相談役をはじめとした校友会役員そして校友の皆様のご理解があつての賜ですので、改めて御礼申し上げます。

ここで学部の近況報告として学科横断型のプログラムを説明します。

本年度から「ロボットエンジニア育成実践プログラム(Robo-BE;ロボビー)」を開始しました。これは、今後活躍が期待されるロボット技術を「触れる」「創る」「企画する」という流れを学び、4年次、大学院での研究を通して創造性と実用性を兼ね備えたロボット技術者のエキスパートを育成するプログラムです。

また、昨年度から「事業継承者・企業家育成プログラム(Entre-to-Be;アントレトゥービー)」を展開しています。これは将来、親の会社を継ぐ、自分の会社を持ちたいなど、事業継承者や企業家を目指す人材に必要なスキルを身につけるプログラムです。生産工学部は創設時から「経営管理能力を備えた技術者の育成」を目指していますのでこのプログラムがそれを具現化した一つです。このプログラムを通して経営者・社長の気持ちがわかる技術者が多く育つことを期待しています。

そして、一昨年度はグローバル時代に対応すべく、世界でたくましく活躍できる力を身に付けたい学生のために「グローバル人材育成プログラム(GloBE;グロービー)」を展開しました。このプログラムの修了生は、今春の海外研修、夏季の海外生産実習を経験しています。

一方、グローバル化に向けては日本技術者教育認定機構(JABEE;ジャビー)が認定するプログラムもその一つです。これは教育プログラムの内容と水準が国際的に通用する技術者の教育として適切であると認定されたもので、生産工学部では、現在、電気電子工学科、土木工学科、応用分子化学科そして数理情報工学科の4学科で認定プログラムのコースがあります。なおこのプログラムの修了生は国家試験である技術士資格試験の第一次試験が免除されます。

以上、Robo-BE、Entre-to-Be、Glo-BE、JABEE、これら「4ビー」は各学科の専門教育と併せて、学生の多様な志向を更に高めるものであり、社会が求める、グローバル化を含めた社会の多様化に対応できる人材の育成を目指しています。

生産工学部では創設以来、特徴を持った教育・研究を通して経営がわかる技術者を育成しており、企業後継者が多く卒業し、その子弟も卒業しています。伝統と特徴を生かした「生産工学部らしさの創造と実践」を更に推進し「生産工学部」を社会に発信して行きます。

今後も生産工学部発展のために校友会、卒業生の皆様のご理解とご支援、ご協力を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

鳥人間コンテストで生産工学部津田沼航空研究会が初優勝しました！

夏の風物詩の一つといっても過言でないくらい有名になった「第40回鳥人間コンテスト2017」において、本学部津田沼航空研究会が滑空機部門で見事初優勝を成し遂げました。この模様は8月の日本TV系列（読売TV系列）で「Iwataniスペシャル第40回鳥人間コンテスト」として放映されたので、ご存知の方も多いかと思いますが、この鳥人間コンテストは、参加希望団体が多いため、最初に厳しい書類審査があります。設計図、重量計算、強度計算等、詳細に審査します。この書類審査を通過して、やっと、本大会に出場できます。実際に参加できるのは限られたチームだけです。競技は人力プロペラ機ディスタンス部門と滑空機部門の2つの部門で争われます。鳥人間コンテストというと理工学部が有名ですが、理工学部は人力プロペラ機ディスタンス部門で、生産工学部とは別の部門です。今年、生産工学部の津田沼航空研究会は滑空機部門で初めて優勝しました。昨年は9位でしたが、今年は、440.37mの記録で、歴代5位、学生記録を

塗り替える堂々たる成績でした。チームの頑張りに敬意を表したいと思います。

11月4日(土)に津田沼キャンパスで初優勝を祝う祝賀会が生産工学部と生産工学部校友会の協賛で開催されました。多くのOB・OGが集まり、今回の快挙を祝しました。あまり知っている人はいませんが、津田沼航空研究会の前顧問は石井進相談役です。石井相談役には、津田沼航空研究会創立時のエピソードについてお話し頂きました。

2017年の戦いは終了しました。今年の主役たちは引退し、もう、既に、2018年の戦いが始まっています。

校友の皆様も、ぜひ、生産工学部津田沼航空研究会の活躍にご注目下さい。今回の鳥人間コンテストの様子および津田沼航空研究会の活躍は生産工学部のホームページおよび津田沼航空研究会のホームページをご覧ください。生産工学部のホームページでは、優勝パイロットの佐藤君のインタビューの動画を見ることができます。



優勝した飛行機



応援する津田沼航空研究会の学生達

鳥人間コンテスト祝賀会

「第40回鳥人間コンテスト2017」において、本学部津田沼航空研究会が滑空機部門で見事初優勝を成し遂げました。この模様は8月の日本TV系列（読売TV系列）で「Iwataniスペシャル第40回鳥

人間コンテスト」として放映されたので、ご存知の方も多いかと思いますが、鳥人間コンテストというと理工学部が有名ですが、理工学部は人力プロペラ機ディスタンス部門で、生産工学部とは別の部

門です。今年、生産工学部の津田沼航空研究会は滑空機部門で初めて優勝しました記録は440.37m、歴代5位、学生新記録でした。

その優勝を祝う祝賀会が、11月4日(土)、津田沼校舎39号館2階食堂で盛大に催されました。祝賀会場には約250名の教職員やOB・OGが集まり、初優勝した津田沼航空研究会チーム(40名)を拍手で迎えました。顧問の野村浩司教授の優勝報告の後、落合実学部長、前顧問であった石井進日本大学常務理事からのお祝いのお言葉がありました。また、OB・OGからの記念品贈呈もあり、

津田沼航空研究会の皆さんは来年のコンテストに向けて決意を新たにしていました。



鳥人周コンテスト初優勝祝賀会が開催

ルービックキューブ世界チャンピオンがオープンキャンパスで その「すご技」を披露しました。

数理情報工学科3年生在学中の伏見有史君は、知る人ぞ知る、すごい特技の持ち主です。小学生時代からルービックキューブに興味を持ちはじめ、片手ルービックキューブの2011年度の3x3x3の片手部門の世界チャンピオンになりました。国内でも、2015年と2016年に2年連続で3x3x3の両手部門の日本チャンピオンに輝いています。

また、本年6月11日にTBSテレビの「ピラミッド ダービー」に出演し、お笑い芸人がルービックキューブを3個揃えるのと伏見君が15個揃えるのとどっちが速いかを競いました。今年は7月13日～16日にパリで開催されたルービックキューブの

世界大会に出場しました。今大会での成績は、3x3x3の片手部門では最高で10位、3x3x3の両手部門では32位でした。

伏見君には、8月に開催されたオープンキャンパスで、そのすご技をライブで実演してもらいました。その際、校友会から昨年の世界大会の優勝のお祝いと今後の活躍を祈念し、金一封を贈呈しました。

その様子は生産工学部のホームページや数理情報工学科のホームページから見るができます。

母校をたずねる会でもOB・OG達の前で実演していただきました。



伏見有史君



母校をたずねる会での実演を見る出席者

平成29年度 生産工学部校友会代議員総会 懇親会



ご挨拶される高野和雄生産校友会会長



ご挨拶される大塚吉兵衛日本大学学長



ご挨拶される落合実生産工学部長



乾杯の音頭をとる石井進日本大学常務理事

平成29年度 生産工学部校友会代議員総会 懇親会は室木正春土木部会長による開会の辞、そして校歌斉唱の後、高野和雄生産工学部校友会会長が代議員総会で会長職の再任された報告と生産工学部70周年に向けて寄付金の積み立てを始めた旨のお話をされました。現在までに、生産工学部校友会からの寄付金は生産工学部奨学金基金1億2,000万円と本部校友会日本大学創立130年記念事業1,000万円とを合わせて合計金額1億3,000万円になりました。

次に、落合実生産工学部長（日本大学副学長、生産工学部校友会名誉会長）からは生産工学部のこれからの事業、今年度卒業生の就職率と生産実習などのお話をいただきました。ご来賓の大塚吉兵衛日本大学学長、瀬川一之日本大学校

友会本部長からもお言葉をいただきました。

大塚学長は生産工学部校友会はたいへん若手の校友が多く、活気に満ち溢れているとお褒めの言葉をいただき、瀬川校友会本部長にも生産工学部校友会は日本大学校友会の中でも一番まとまりがあるのではないかなどのお話をいただきました。

石井進日本大学常務理事（日本大学校友会千葉県支部長）の乾杯で懇親会がはじまり、お集まりいただいたご来賓と校友約250人が和やかに祝宴を楽しみました。（今年も28名の留学生をご招待しました）

澤政利建築部会長の中締め、三宅修平数理情報部会長の閉会の辞でお開きとなりました。



落合 実 生産工学部長 日本大学副学長就任祝

平成29年5月13日(土)、帝国ホテル富士の間に
おいて、土木工学科落合実教授の学部長再任祝賀
会が催されました。

午後6時より行われた祝賀会は、田中英壽日本
大学理事長、大塚吉兵衛日本大学学長、石井進日
本大学常務理事、高野和雄日本大学理事をはじめ、
多くのご来賓をお招きして盛大に開催されました。

祝賀会には、ご来賓12名、教職員165名、土木工
学科卒業生183名、校友会等の関係者50名、総勢
410名のご列席がありました。

はじめに、発起人代表として土木工学科主任の
伊藤義也教授より開会の辞があり、次に、田中英
壽日本大学理事長、大塚吉兵衛日本大学学長の祝

辞がありました。引き続き、ご来賓ならびに生産工
学部執行部のご紹介の後、落合実学部長と令夫人
へ土木事務室の大場眞依さんと増井智美さんより
花束の贈呈が行われ、謝辞として落合実学部長よ
り、学部長としての抱負が述べられました。続いて、
石井進日本大学常務理事の乾杯のご発声によ
り、開宴しました。宴は、落合学部長を囲んでの談
笑や今後のご活躍を期待する声など、終始和やか
にかつ盛大に催されました。歓談中には、(株)新星
コンサルタントの中島正規様、りんかい日産建設
(株)の合田和弘様より祝辞をいただきました。

最後は、日本大学生産工学部事務局長の逆井彰
様の閉会の辞でお開きとなりました。



工学系校友会連絡会

第35回日本大学工科系校友会連絡会が平成
29年8月26日(土)、日本大学校友会館(市ヶ谷)
で開催されました。4学部校友会幹事約40名が
参加。座長に薬学部校友会の安川憲さんが選出
され、各学部校友会の事業報告が各会長から話さ
れました。懇親会はご来賓として石井進日本大学
常務理事、本橋重康薬学部長、小林昭男理工学部長
代理、出村克宣工学部長、落合実生産工学部長、

齋藤正道薬学部事務局長、河野通隆理工学部事
務局長代理、渡邊和美工学部事務局長、逆井彰生
産工学部事務局長に出席していただきました。当
番校である内倉和雄薬学部校友会長の開会の辞
ではじまり、会は和やかな祝宴になりました。最
後に次回当番校である木田哲量理工学部校友会
長の閉会の辞でお開きとなりました。





第10回 風力発電コンペWINCOM2017

No.	システム名称	所属など	代表者	備考
H13	Brand New Wind 2017 Type Twin	足利工業大学附属高等学校	菊野 拓也	最優秀賞
H1	SHIMOFUSA Wind-power 2017 typeH	千葉県立下総高等学校	金親 京吾	優秀賞
V8	久喜風車1号	埼玉県立久喜工業高等学校	鈴木 宏重	優秀賞
O5	Schwert-2017	日本大学生産工学部機械工学科	大鋸谷 悠太	優秀賞
O10	マワレ・ファイブ・2017		北見 弘	WINCOM10周年記念賞
H2	回れ!!プロペラくん!!	山形県立山形工業高等学校	深瀬 実紀	アイデア賞
V6	ばけ丸君	順天高等学校	鈴木 隆玄	アイデア賞
H4	観光の学び 風のまちⅡ	千葉県立館山総合高等学校	須田 裕貴	デザイン賞
H5	最上の流れ	山形県立村山産業高等学校	菅野 拓真	デザイン賞
H12	Brand New Wind 2017 Type Single	足利工業大学附属高等学校	山藤 冬我	日本風力エネルギー学会賞



WINCOM10周年記念賞を受賞した
北見 弘さんと澤 政利校友会副会長

2018年度キャンパスガイド表紙デザインコンペ

平成29年11月5日(日)津田沼校舎39号館1階ギャラリーで2018年度キャンパスガイド表紙デザインコンペ作品審査を行いました。

最優秀賞	生産工キャンスマップ	杉浦 友崇	創生デザイン学科3年
優秀賞	飛ぶ桜吹雪	日野 一貴	建築工学専攻2年
//	覗き見る私たちの未来 (共同製作部)	外山 純輝	建築工学科4年
		伊藤 優太	建築工学専攻2年
佳作	キャンパスライフ!	米山 輝	創生デザイン学科3年
//	自分で進む、この道を通して	佐藤 耕介	建築工学科4年
//	掌	小林 亮太	創生デザイン学科3年
//	手で練る未来	山下 ジロ	建築工学専攻1年
//	羅針盤	涌井 優	電気電子工学科3年
校友会賞	飛翔	鈴木 風太	創生デザイン学科3年
//	生産工1500景	吉水 寛樹	創生デザイン学科3年
//	大学は将来の基盤。	横川 誠人	創生デザイン学科4年
//	ものづくりに未来を	望月 雄馬	建築工学専攻1年
//	視ること	井手 優汰	建築工学専攻1年
//	「学ぶ」の可視化	近藤 啓祐	建築工学科4年
//	「ひろがる」世界	櫻井 勇真	創生デザイン学科3年
//	生産工学部らしさ	福田 奎也	建築工学専攻1年
//	羽ばたく十の翼	筒井 祥平	建築工学専攻1年
//	創造	望月 幸一	創生デザイン学科3年
//	私達が創る未来	鈴木 友理	創生デザイン学科3年
//	Go to the future, Go to the Seisan.	古田 莉香子	建築工学専攻2年
//	視野の拡張がつかなく未来	角田 優人	建築工学科4年
//	君は、キャンパスを何色に染める?	黒江 太樹	建築工学科4年



表彰式



最優秀賞作品デザイン



第29回 母校を訪ねる会・桜泉祭

生産工学部では毎年桜泉祭(旧泉祭)の時期(今年度は11月4日～11月5日)に「母校を訪ねる会」を開催し、皆様をご招待申し上げております。今年度は卒業50年(昭和42年卒業)、卒業40年(昭和52年卒業)、卒業30年(昭和62年卒業)、卒業20年(平成9年卒業)及び卒業10年(平成19年卒業)を経た皆様を対象に第29回「母校を訪ねる会」を開催致しました。懇親会は39号館2階食堂

で行われました。松田俊二機械部会長の開会の辞で始まり、落合実生産工学部長、高野和雄生産工学部校友会会長、石井進生産工学部校友会相談役の順にご挨拶を頂きました。逆井彰生産工学部事務局長の乾杯の音頭で懇親会が始まり、OB・OGの方々とご家族が在学当時の先生方をはじめ教職員との懇談やお互いの旧交を深めました。



桜泉祭



母校を訪ねる会

第12回日進会(教職員・校友会合同)ゴルフコンペ

平成29年10月4日(水)日本大学創立記念日に山武カントリークラブに於いて、生産工学部教職員と生産工学部校友会幹事等で合同ゴルフコンペを16組で開催致しました。競技方法は18ホール新ペリア方式・上限なし(同ネットは年長者上位)で行われました。個人戦優勝は坂入保世さん(元教職員)、準優

勝は川良美佐雄さん(校友会)、3位は萩野健司さん(教職員)でした。団体戦優勝は教職員チーム、準優勝は校友会チームでした。天候にも恵まれ今年も教職員と校友会が仲良くゴルフを満喫し、和やかに表彰式と祝宴が催されました。次回の幹事は教職員です。



2017年10月4日 山武グリーンカントリークラブ

梅谷 純生 土木工学科部会長

校友の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。本年度より生産工学部校友会土木工学科部会部会長を仰せつかりました、昭和61年卒業の梅谷純生です。前任者の室木先輩より、このような大役を任され責務の大きさに身の引き締まる思いです。私は現在、生コンクリート製造業に従事しており、関東一都三県に15のグループ工場(千葉県:6、東京都:2、神奈川県:6、埼玉県:1)を有し、現在、取締役 浦安工場長に就任してお

り、母校である生産工学部内の建物等の建築には当社のコンクリートが使用されております。

日本大学は、2019年に創立130周年を迎える事となりますが、生産工学部校友会 土木部会長として教職員の皆様と連携し、校友会活動を通して母校の発展に寄与していく所存でありますので、皆様の御指導、御理解、御協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。



梅谷純生 土木工学科部会長



佐野 洋之 応用分子化学部会長

本年度から生産工学部校友会応用分子化学部会部会長を仰せつかりました、昭和59年卒業の佐野でございます。10年近く守田前部会長が指導されたおかげで、応化部会は若い先生方が協力的で非常に活気ある部会に成長しております。その組織を引き継がせて頂き、身が引き締まる思いです。化学出身ですが、建設業界に長く在籍しており、現在は外食チェーン本部の建築発注部署に身を置いております。東京を拠点として全国に出店しており、今の担当エリアが関東、北陸、中国、四国であるため毎週のように出張の毎日です。

応化は11月18日(土)に第2回ホームカミング

ディを開催しました。新旧の卒業生合わせて、2百名近く参加頂き大盛況で幕を閉じました。これも若い先生方が中心となって今年の春先から準備を進めて頂いた結果です。伝統として次の世代に引き継いでいけるよう体制づくりに励みます。

唯一の欠点は、教職員以外の幹事が不足していることです。幅広い世代に呼びかけ、名簿には参加頂いているのですが、中々全員の顔と名前が一致するまでには至っておりません。幹事全員と顔を合わせ、将来の応化を語れることが当面の目標です。

今後とも宜しくお願い申し上げます。



津田沼航空研究会(応化)学生と佐野洋之部会長



第2回 ホームカミングディ



機械工学科

【学生数】 学部761名 大学院(前期)75名、大学院(後期)7名

【人事】 今年度は高橋進教授が主任、網島均教授が専攻主任として学科運営に携わっております。また今年度より助手として和地天平先生が、研究所教授として松本陽先生がご着任されました。平成29年1月には長年、教育・研究に御尽力された加藤数良教授がご退職され、3月には氏家康成先生、大久保通則先生、高橋清造先生がご退職、4月より特任教授となりました。

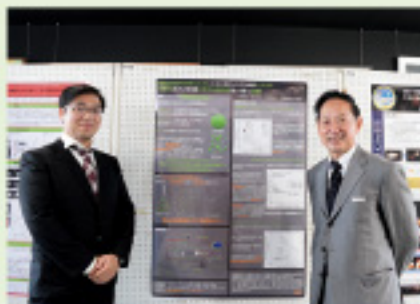
【トピックス】 今年度は多方面で学生たちが大活躍しました。7月に開催された第40回鳥人間コンテストでは佐藤光君(B3)がパイロット兼代表を務める津田沼航空研究会が滑空機部門で初優勝を飾りました。佐藤君からは「入学時からの目標であった鳥人間コンテスト優勝が達成でき、とてもうれしく思います。限られた期間や資金の中で自分たちが作れる最高の機体を用意してくれたチームメイトと、応援いただいたOBの皆様に心から感謝します。」とのコメントが寄せられています。また、9月に開催された第15回全日本学生フォーミュラ大会では對野壱星君(B3)をキャプテンとするJSAEチームが国内外合計98大学中45位と健闘し、日本自動車工業会会長賞を受賞、10月には野村研究室の金豊君(M1)が日本マイクログラフィティ応用学会第29回学術講演会において毛利ポスター賞



松本陽研究所教授



和地天平助手



毛利衛氏と

敢闘賞を受賞しました。

電気電子工学科

【学生数】 学部697名 大学院(前期)23名 大学院(後期)3名

【人事】 今年度は新妻清純教授が学科主任、坂口浩一教授が専攻主任として学科・専攻運営に携わっております。また、荒巻光利先生と内田暁先生が教授に昇格され、本学科卒業生の加藤修平氏が助手として採用されました。

【トピックス】 ○毎年、1年生は大学生活をスムーズに始められるように、また、学生同士や学生と教員の親睦を深めるために、一泊二日の学外オリエンテーションを行っています。今年度の学外オリエンテーションは、4月15日(土)・16日(日)の日程で、2014年に世界遺産に登録された群馬県富岡に設立された日本初の本格的な器機製系の工場である富岡製糸場の



学外オリエンテーション



の見学と学生生活や勉強方法などについて学生と教員とで議論を行いました。両日とも天候に恵まれ有意義に過ごすことができました。○黒岩孝教授が、平成28年12月から5か月間、日本大学の海外派遣研究員として英国のノッティンガム大学に滞在されました。キャンパスはロンドンから電車で約2時間のイングランド東中部にあり、国内では最大規模の広さを誇ります。キャンパス内は教室棟や研究棟のほか、図書館や学生寮、商業施設や庭園などがあり、まるで独立した街の様でした。

土木工学科

【学生数】 学部生808名、大学院生(前期)36名、大学院生(後期)8名

【人事】 平成29年度は、山口晋助教が専任講師に、中村倫明助手が助教に昇格されました。これにより、土木工学科の教員構成は教授11名、准教授3名、専任講師4名、助教1名、助手1名となりました。また、4月より高橋岩仁准教授が、アーヘン工科大学(ドイツ)へ1年間の海外派遣研究員として留学されています。

【トピックス】 4月15日・16日の1泊2日で、1年生のオリエンテーション旅行として、茨城県に行っていました。ホテルでは日本大学工科校友会茨城県支部のOB諸氏に、貴重なご講演をいただきました。

5月25日に、世の中のニーズに合った下水道技術者を教育するために、土木工学科、(一社)日本管路更生工法品質確保協会、および東京都下水道サービス株式会社の3者で協定を締結し、管路メンテナンスの講義を今年度より実施することになりました。



1年生オリエンテーション旅行



9月12日・13日の1泊2日で、3年生の「生産実習」に関わる現場研修旅行として、東京外かく環状道路中央JCTおよび八ッ場ダム建設現場に行っていました。また、今年度より「海外生産実習」として海外インターンシップが導入され、土木工学科3年生の4名が、インド(1名)、ベトナム(1名)、パラグアイ(2名)にて実習を行いました。海外インターンシップの詳細につきましては、生産工学部HP(<http://www.cit.ni-hon-u.ac.jp/special/internship/#flow>)をご覧ください。

建築工学科

【学生数】 学部927名 大学院（前期）49名 （後期）4名

【人事】 塩川博義教授が学科主任に選出され、専攻主任に小松博教授が任命されました。また、岩田伸一郎准教授が教授に、三上功生専任講師が准教授に昇格されました。

【トピックス】 山岸助教が2017年8月にエジプトを訪問した際の、「エジプト日本式学校」計画検討への協力に対して、教育省学校施設局長のユースリー副大臣より記念品を贈呈されました。

2016年2月、エジプト・シーシー大統領来日の際に発表された「エジプト日本教育パートナーシップ」の中で、エジプトにおいて特別活動（特活）と呼ばれる日本式教育を行う学校「エジプト日本式学校」の整備が表明され、今後2～3年の間に200校を整備する意向が示されています。

日本式教育を行うと言っても文化、風土等の異なるエジプトで日本の学校建築をそのまま適応はできず、日本の学校の何に着目し、何を取り入れるのかが課題となります。2016年5月にエジプト教育省より専門技術者が日本に派遣され、技術的課題に関する日本・エジプトの意見交換が行われました。

その際に日本側メンバーの一人として山岸助教が参加し、助言を行いました。冒頭の記念品はその貢献に対する謝意として贈られたものです。



応用分子化学科

【学生数】 学部692名 大学院（前期）42名 大学院（後期）1名

【人事】 平成29年度は昨年に続いて日秋俊彦教授が学科主任に選出され、専攻主任に山田和典先生が任命されました。齊藤和憲専任講師が准教授に昇格されました。これにより平成29年度の教員構成は教授8名、研究所教授2名、准教授6名、専任講師3名、助教1名で研究室数は14であります。なお、学科に関する最新情報はホームページをご覧ください。http://www.ic.cit.nihon-u.ac.jp/

【トピックス】 ○2017年1月に津野教授の論文がEuropean Journal of Inorganic ChemistryのInside Coverを飾りました。○2017年6月に藤井教授の論文がChemistry - A European JournalのInside Coverを飾りました○大学院博士前期課程2年の小柴佑輔君が、2017年3月に化学工会第82年会で優秀学生賞を、また8月に第5回水科学ならびに水資源に関する国際会議（ISASWR'17）で優秀ポスター賞を受賞しました。○2017年10月に、大学院博士前期課程1年長嶋恭介君が日本分析化学会第66年会での発表が「展望とトピックス」に選出されました。○本学科卒業生の内田圭祐君（現、東京医科歯科大学大学院D2）が9月に26th International Conference on Heterocyclic Chemistry CongressでSYNFACTS Poster Prizeを受賞しました。○学部4年生の祇樹勇君が環境計量士（濃度関係）に合格（合格時は3年生）しました。合格率15%の難しい試験です。○当学科の国際化学技術者コースは、昨年11月にJABEE認定継続審査を受診し、3月に継続申請を受けました。このことは当該プログラムの教育の質保証と国際的な同等性が確保されていることを意味しています。○生産工学部教育貢献賞に応用分子化学科から2教員（中釜達朗、野呂知加子）、1グループ（田中智、藤井孝宜、山田和典、市川隼人、岡田昌樹、保科貴亮、吉宗一寛、齊藤和憲、佐藤敏幸）が選出されました。○生産工学部創設65周年工業化学科・応用分子化学科ホームカミングディを11月18日に開催しました。



ヨーロッパの
国際学術雑誌の
表紙を飾った
2つの論文
（左：津野先生、
右：藤井先生）



生産工学部
教育貢献賞に
応用分子化学科の
2教員および
1グループ



マネジメント工学科

【学生数】 学部745名 大学院(前期)21名 (後期) 3名

【トピックス】 4月の新入生向学外オリエンテーションでは、千葉県の体験博物館「房総のむら」に行き、ペンダント作りや竹馬乗りなどの体験をしました。また、バスの移動やオリエンテーションの時間帯はスマホの電源を切ることにしたので、知らないもの同士でも自然に会話が増えて、多くの友達が出来たようです。

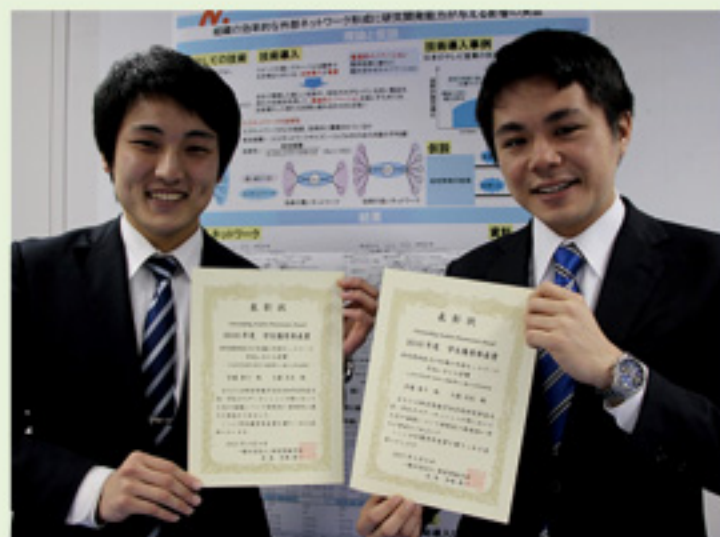
今年も桜泉祭(学園祭)での学科御神輿に対してOBの生産工学部校友会マネジメント部会から御神輿の製作・修理代等のご支援を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

研究活動では経営情報学会の春季と秋季の全国研究発表大会で、(佐藤君、大藪君)が優秀発表賞を連続受賞しました。そして自動車技術会関東支部の発表では優秀発表(磯崎君、向井君)、優秀論文賞(向井君)を受賞しました。

近年恒例となっておりますが、6月には台湾の中國科技大学との交流プログラムを実施して学生20名が来日して工場見学や授業参加等を受けました。



マネジメント工学科の御神輿



経営情報学会の学生優秀発表賞(連続受賞)

数理情報工学科

【学生数】 学部640名 大学院(前期)23名 (後期) 3名

【人事】 学科主任は細川利典教授が再任し、専攻主任に古市昌一教授が任命されました。岡哲資准教授が教授に、浦上大輔助教が准教授に、山内ゆかり助教が専任講師に昇格されました。

【トピックス】 ○2016年12月に、国際会議The 7th Thai Society of Mechanical Engineers International Conference on Mechanical Engineeringで見坐地研究室から発表した論文“Using a Musculoskeletal Mathematical Model to Analyze Fatigue of the Muscles in the Lower Limbs during Different Motions” (Kaito Watanabe, Yuya Onodera, Masaki Izawa, Ayumi Takahashi and Kazuhito Misaji)がBest Paper Awardに選ばれ表彰されました。○2017年1月に見坐地一人教授が、(公益社団法人)自動車技術会からフェローエンジニアの認定を受けました。

○2017年9月に粟飯原萌さんが「シリアスゲーム型学習用教材構築法に関する研究」で博士(工学)の学位を授与されました。



Best Paper Award 表彰状



自動車技術会フェローエンジニア認定式

環境安全工学科

【学生数】 学部533名

【トピックス】 秋濱教授が2017年1月に自動車エンジニアレベルの最高位の資格である自動車技術会のJSAE フェローエンジニアに認定されました。また、五十畑教授が2016年12月に世界遺産登録推進国際シンポジウム2016にパネラーとして登壇、2017年9月にNHK BS「浮世絵ツアー」、2017年10月にNHKラジオ「私の日本語辞典」に出演されるなど活躍されています。学生も活躍しており、第25回微粒化シンポジウム(2016年12月於富山)において、大学院機械工学専攻1年山崎研究室所属の加藤千晶さん(環境安全工学科平成26年3月卒)が優秀講演賞に選ばれました。



加藤千晶さんの受賞後の様子

就職活動出陣式の様子

2017年3月には、当学科5期生120名が卒業しました。また、就職希望者全員の就職が決まり、4年連続で就職率100%を達成しました。高い就職率維持の背景には、日本大学校友皆様の御支援・ご協力があり、また学科主催で業界説明会、個別面談、就職活動出陣式の開催など、3年次から就職活動をサポート・啓蒙し、積極性向上のための取組みが充実していることにあります。

今年度4月には1年生131名を迎えました。また、岩田和也助手が着任し、今後さらなる教育研究活動の発展が期待されます。

なお、学科WEBサイトにおいても学科ニュースや学生の声など随時更新していますので、ぜひご覧になってください。

創生デザイン学科

【トピックス】 ○本年度も1年生130名が入学し、4月15日(土)、16日(日)にはオリエンテーション合宿を実施しました。シーグラム壁画で知られる「川村美術館」での西洋絵画や敷地景観の鑑賞、ホテル三日月(鴨川市)でのミーティング、マザー牧場での散策などを通じ、交流を深めました。

○創生デザイン学科有志が作成した神輿が、第26回桜泉祭団体グランプリ神輿部門で準優勝となりました。



オリエンテーション



神輿

○桜泉祭期間中の11月5日(日)には、40号館5、6Fホールにて、LIFE×TECHNOLOGY×DESIGNをテーマとしたオープンラボラトリーを開催しました。研究室展示やワークショップを行い、約100名のご来客を賜りました。

○創生デザイン学科は平成30年に創設10周年を迎えます。各種イベントを企画しております。

【人事】 平成29年4月、森宮祐次教授が着任されました。専門はプロダクトデザイン、今後の活躍が期待されます。

平成29年3月、大野茂先生が定年退職されました。長い間ご苦労様でした。

教養基礎科学系

【トピックス】 本年度より新カリキュラムがスタートし、同時にセメスター制からクォーター制へと移行しました。クォーター制は週2回の授業があり約2か月で1学期が終わるサイクルです。教員が混乱する場面などもありましたが、現在第3クォーターまで進み、落ち着きが出てきました。また、自主創造の基礎Ⅰ・Ⅱという科目も始まり、先日ワールドカフェも開催され、新しい試みが非常に多い年となっております。他では、半期の単位数制限も20単位に減ったことから、より1つ1つの科目に、学生は集中し学び、教員は集中し教える必要性が増しました。



ワールドカフェの様子

スムーズな運用のためにも試行錯誤を繰り返す毎日となっています。

【人事】 昨年度は3月に井上隆勝准教授が定年を迎え、また、木内徹、永井敦教授、大淵崇人専任講師、大島佐知子助教が新たな道に進むため退職されました。一方、4月より三浦慎一郎准教授(数学系列)、小林雄一郎助教(言語文化系列)が仲間入りしました。

日本大学校友会名簿システム導入

卒業生の皆様へ、
いつまでも日本大学とつながりを持てるよう
生産工学部校友会は「校友会名簿システム」を導入しました。

いつまでも日本大と！

お知らせ
日本大学病院の特典サービスを受けられます。

日本大学校友会正会員が、日本大学病院の次年度の特典サービスを受けられます。

特典サービス内容

■人間ドック（総合健診）料金の割引

日本大学病院健診センターで人間ドック（総合健診）を受診する場合、利用料金から3,000円を割引します。

■人間ドック（総合健診）料金

45,000円 → **42,000円**（消費税別）

■婦人科健診

53,000円 → **50,000円**（消費税別）

（婦人科健診＋子宮頸がん検診＋経膈エコー）

■特典申し込み

人間ドック申し込み・予約時に正会員であることを伝え、当日、窓口で正会員証を提示してください。

※人間ドック、がん検診等の実施は、各医療機関の要請により変更される場合があります。

メールアドレスは簡単に登録できます。
大学からの情報が一生届けられます！
校友会員だけの特権情報が分かります！
（日本大学病院における特権・全国校友のお店＆お宿ガイド）
日本大学とつながっているので多くのメリットを共有できます！
いつまでも母校と一緒にです！

日本大学生産工学部校友会
http://seisan.nihon-u-koyukai.com

校友会は、いつまでも卒業生とのつながりを大事にしています！（卒業生100万人と）

日本大学生産工学部校友会誌「桜生工」

発行：日本大学生産工学部校友会

住所：千葉県習志野市泉町1-2-1

TEL：047-476-1140

FAX：047-476-3510

HOME PAGE：http://seisan.nihon-u-koyukai.com/

E-MAIL：nuitkoyukai@nippon.email.ne.jp

印刷：株式会社 東工

住所：さいたま市大宮区桜木町4丁目527番

TEL：048-782-5162(代)

FAX：048-782-5163

編集：日本大学生産工学部

校友会広報委員会